

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

| | | 所管課 | 文化・スポーツ振興課 |
|-----------------------|---------------------------------------|--|------------|
| 会議名 (審議会等名) | 第4回 嬉野市文化振興審議会 | | |
| 開催日時 | 平成27年5月26日(火) 14:15～ | | |
| 開催場所 | 嬉野市中央公民館2F視聴覚室 | | |
| 傍聴の可否 | 可 ・ 不可 ・ 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可 の場合はその理由 | | | |
| 出席者 | 委員 | 青木委員、一ノ瀬委員、江口委員、梶原委員、徳永委員、東島委員、松尾委員、水山委員、森委員、森委員、森山委員、山田委員 | |
| | 事務局 | 文化・スポーツ振興課副課長、同課主任、同課主任、同係員 | |
| | その他 | (株)ぎょうせいより2名 | |
| 会議の議題 | 別紙のとおり | | |
| 配布資料 | ① 文化振興関連事業一覧 ② 文化振興基本方針検討に向けた課題の整理 | | |
| 審議等の内容 | 別紙のとおり | | |

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

| | | 所管課 | 文化・スポーツ振興課 |
|------|--|---|------------|
| 議 題 | ①文化振興基本計画 | | |
| 内 容 | 文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4基本方針）」の閣議決定について報告。 | | |
| 審議経過 | 事務局 | 『文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）』の閣議決定について報告 | |
| | 議長 | この情報だけでは審議は難しいと思います。 | |
| | 事務局 | <p>閣議決定されたばかりということで、今審議会で提出する詳細資料が準備できませんでした。本日は第4次基本計画についての報告のみ行い、次回以降に資料が揃い次第、みなさんに説明を行います。</p> <p>その段階で、いま協議いただいている計画とリンクするところが出てくると思います。最終的には嬉野市の文化振興計画を、総合計画や国の計画にリンクさせるという作業がでてきます。</p> | |
| その他 | | | |

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

| | | 所管課 | 文化・スポーツ振興課 |
|------|---|---|------------|
| 議 題 | ②文化振興の基本方針検討に向けた課題の整理 | | |
| 内 容 | 事務局より資料1「文化振興の基本方針検討に向けた課題の整理」の一覧表についての協議 | | |
| 審議経過 | 事務局 | 資料1「文化振興の基本方針検討に向けた課題の整理」の一覧表について説明。 (質疑応答) | |
| | 委員 | アンケートなど分析を参考にしたうえで、先進事例の紹介などはできませんか。 | |
| | 事務局 | 特定のジャンルで活動して成果を上げているところ、文化施設が地域の文化振興の核となっている事例はたくさんあります。 | |
| | 委員 | 嬉野市はここ10年で人口が減少して、高齢化が進み、独居の高齢者が増えています。そのような前提も考えなければなりません。 | |
| | 事務局 | 例えば、文化芸術活動を利用して、高齢者の生き甲斐を作るといふかたちでまちづくりをするというのも一つの案かもしれません。 | |
| | 委員 | (以下：意見交換) 文化団体の参加者は高齢者が多いのですが、やっているとするのは「継続は力なり」です。上手下手ではなく続けることによって、いろいろな人とつながりができます。 | |
| | 委員 | 茶道、華道、書道など、公民館などの公の場所で気楽に市民が習えるような時間と場を作っていけば、みなさんが触れる機会が増えていくのではと思います。佐賀県のゆめさが大学ではシニアが集まって学んでいます、意欲的です。それぞれの団体でリーダーになって、やっていくという気概をもって学んでいるという印象をうけました。文化的なことから遠ざかっている方でも、お知らせすれば、 | |

| | |
|----|---|
| | <p>まだやりたいという人が集まってくるのではないのでしょうか。そのような発信も必要ではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>例えば、大きなお茶会のイベントをやってみたらどうでしょうか。茶道には花、書、陶芸などが含まれ、いろいろな興味をひくことができると思います。そこから、公民館のそれぞれの教室に参加するようになったり、仲間が増えたりということになるのではと思います。</p> |
| 委員 | <p>生まれた年代によって、生活もずいぶん違います。昔の暮らし方を子どもたちに知ってもらえるのもいいのではないかと思います。嬉野は自然に恵まれたところで、自然とのふれあいのなかで生活する仕組みをどこかで作っていかなければならないのではと思っています。また昔の風俗、文化を生かしていくのも必要ではないかと思います。</p> |
| 委員 | <p>文化芸術活動を行なっている人が16.7%というのは他所と比べてどうなのでしょう。多いほうではないかと思います。いまは退職者でも、若い人も子どももすることがいっぱいあります。いろいろなことをしている人がいる一方で、何もしない人もいます。ことぶき大学、若返り大学もあり、これ以上何かというのは難しいのではないかという感想を持ちました。</p> |
| 委員 | <p>話すこと、目にするもの、動くもの全てが広い意味では文化であると捉えてきました。例えば食べ方も手、フォーク、箸などありますが、優劣つけられないそれぞれの文化です。ここで言っているのはスポーツに対しての文化なのかと思いますが、スポーツも文化だと思います。それを考えると16.7%は正しい数字ではないと思います。文化イコール芸術イコール何々道と考えて、どこかの催し物に参加した人の数字ではないかと思うのです。自宅で庭木や花を育てているのも文化であり、その人がそういう教室に行けば文化活動、芸術活動したということなる。映画館には行かないけれど、DVDで観た人も一種の文化活動をしている人だと思う。それぞれ自分の趣味をもってやっている人はこのような数字ではないと思います。</p> <p>ここで私たちがやらなければならないのは、そういう人たちが余暇を利用して、催しものに行ってみようかという気持ちになってもらえるかどうかということだと思います。あまり肩肘はって、芸術がどうのという審議になっていくと、市民を文化、芸術活動に導いていくということから外れていくのではないかと思っていました。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>嬉野や嬉野の外で催されるものにはいかにして参加させるのか、自分が持っている趣味を場合によっては発表の場にもっていきようにするのか、過去から受け継がれている伝統、歴史をいかに伝えて、引き継いでいくのか。現在と未来をどうやってつなげていくかというのが、この会議の趣旨ではないかと思っています。</p> <p>アドバイザー 文化は日々の暮らしのなかで、ジャンルに関わらず、いろいろな形があつて、知的好奇心をもって何かに取り組むことで成長があつたり、つながりがあつたり、発見があつたり、生きる喜びが生まれる。こうした活動を文化ととらえると、すでに嬉野市はたくさんの人が関わって、生きる喜びをもって活動しているところから、文化をとらえ直すことが必要なのではないかと思います。</p> <p>「(1) 市民の文化活動の促進に関すること」についてです。アンケートを見ると小中学生はありますが、10～30代が100人たらずしか反映されていない。新しい取組みの担い手になる人たちの掘り起こしがどこでも必要になると思います。その間口を広くして、その芽を育てる事業、例えば応援事業で、何か新しいことをしたいという30代までの人を年間数万円の資金と町のホームページなどでPRして応援する。もっと継続的にやってもいいというのは、継続的な双葉事業、芽を双葉にしていくような事業にする。そんなにお金をかけなくても、そのような視点で町が若者の何かやりたいという意欲をうまく掘り起こして育てていけるような事業は文化振興の糸口になるのではないかと思います。</p> <p>「(2) 本市独自の文化活動と伝統文化・歴史遺産の継承・発展、後継者の育成に関すること」では異世代の交流の場がもっと必要だろうと思います。文化芸術的な活動をされているたくさんの方々教育の場で伝えていく事業があると思いますが、それを広げ、もう少し光をあてていくことができればと思います。</p> <p>「(3) 地域、学校における子どもたちの文化活動や学びの場の充実に関すること」では市民のためだけの事業ではなく、市の文化の独自性を全国に発信する事業がほしいと思います。対象としては障がいをもっている人や子育てで忙しい世代、ある意味の文化弱者がどれだけ参加できるかを目配りしていくことも必要ではないでしょうか。</p> <p>「(4) 新しい文化芸術の創造に関すること」ですが、嬉野市は佐賀県内でも豊かな芸術、歴史をもっています。芸術家が町の良さに</p> |
|--|--|

| | | |
|-----|----------------------------------|---|
| | 議長 | <p>憧れて移り住んで、また文化を発信していくような招聘事業もあっていいのではないかと思います。</p> <p>スタートがなかなか進まないような面もありますが、このもがきが文化振興の未来を作るためにも大事なことだと思います。事務局から具体的な取組みを文章化してもらい、それを審議して議事が進むようにしていかなければと思います。</p> |
| その他 | <p>次回の審議会開催予定日は6月30日（火）13時半～</p> | |